

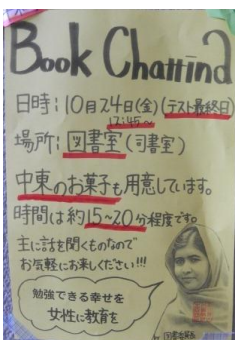
マララ・ユスフザイさんにノーベル平和賞！

日本の科学者3人がノーベル物理学賞を受賞し、日本の科学技術の水準の高さを世界に改めて認識させました。その数日後、17歳の高校生がノーベル平和賞受賞という報が飛び込んできました。マララ・ユスフザイさんです。彼女については、昨年の12月の青高通信94号に掲載するとともに、二学期の終業式の式辞でも皆さんに話をしました。また4月の入学式の式辞でも触れました。

パキスタンに生まれ、女子教育を禁じているタリバンを批判し、11歳の時から女性の教育を受ける権利について世界に発信。そのため一昨年10月、下校途中に頭部を銃撃され意識不明となり、搬送されたイギリスの病院で治療を受け、奇跡的に命をとりとめ、その後も活動を続けてきました。そして昨年7月に国連での演説で「一人の子ども、一人の教師、一冊の本、そして一本のペンが、世界を変えられるのです」と訴えました。皆さんと同じ高校生がこうした活動をしていることに大きな衝撃を受け、日本で不自由なく学べることに感謝するとともに、広く世界に視野を広げてほしいと思い、紹介しました。

私の話を契機に『わたしはママラ』（マララ・ユスフザイ、他著：学研パブリッシング）を読み、啓発され、今夏ボランティアをするためにカナダに行った青高生がいます。2年生の図書委員長・秋場さんはこの経験を通して、「小さなことでも一歩前に出て行動することの大切さを学んだ」と言っています。その一歩として10月24日（金）に「Book Chatting」を開催。「マララさんの生き方を通して、今の自分を変えたい。自分で考えて行動できるようにならなくては」との思いが伝わってきました。今回は14人が参加しましたが、興味をもった生徒が多く、今後も継続してほしいとの意見も出ています。

マララさんのノーベル平和賞受賞に当たって、東京新聞から電話取材を受け、10月11日付け朝刊（社会面）に私のコメントが掲載されました（図書室の掲示板に掲示してあります）。



【写真左】「Book Chatting」開催を知らせるポスター

【写真右】マララさんについての話などを熱心に聞き入っている参加者。今後の青高での広まりに期待！

青高10月の表情



【左上】生徒による校内案内は大好評！（学校説明会：4日）

【右上】皆既月食を見ると全員合格！？（8日19時、正門前）

【左下】「いらっしやいませ！」（26日：1年生社会参加・青山祭）

【右下】2日間限定「青山やきとり部」も登場！（青山祭）

※1年生の社会参加（熊野神社祭礼・青山祭）の写真は校長室前の廊下に掲示しています。

青高、来年度は増学級に！

既に報道されていますが、本校の来年度の募集人員は317人、7学級から8学級になります。これに伴い、普通教室を確保するための改修工事が行われます。4階の地学講義室と準備室の壁を撤去し、2教室を確保し、普通教室と地学教室兼講義室にします。この工事は来年度の夏休みを活用して行いますが、完成は10月末頃になります。それまでは2階の第1講義室を普通教室として活用します。増学級に伴い、教育活動にも少なからず影響が出てきますが、できるだけ円滑に教育活動ができるよう教育委員会にお願いします。皆さんにも、協力をお願いします。

日々の生活を振り返ると…

皆さんに聞きたい。朝、教室に余裕をもって入室し、授業の準備をしているだろうか？ 昼の外出は届け出をしてから出ているだろうか？ 自習室を整理整頓しているだろうか？ 持ち込んだゴミは校内には捨てずに持ち帰っているだろうか？ 進学指導重点校の生徒として自覚をもった行動をしているだろうか？ 皆さん、一人一人に聞きたい…。

【11月の主な予定】

- 1日（土）講習デー
- 5日（水）外部模試（全学年）
- 8日（土）土曜授業、学校公開、学校説明会
- 15日（土）講習デー、3年外部模試（希望者）
- 19日（水）PTA青山ウォーキング
- 22日（土）土曜授業、保護者対象保健研修会
- 29日（土）土曜授業、学校公開、学校運営連絡協議会

うがい、手洗い、咳エチケット、朝の健康チェックでインフルエンザ対策を！